

Q. あなたが日常生活で使っている水は？（8 択）

『水道水をそのまま飲む』は約 2 割
「炊飯・調理」でも“水道水派”は 5 割強に止まる

大都市圏の一般家庭では、実際にどのような水を使っているのかを、昨年について用途別に聞いてみました。

取り上げた水の用途は、①水をそのまま口に入れる「飲用」、②加熱する「炊飯」、③加熱して味付けすることが多い「調理」、④個人のこだわりが反映されやすい「コーヒー・紅茶をいれるとき」、⑤「食器洗浄」の 5 つ。

結果は昨年とほぼ同様で、おおよそ次のようになりました。

- * 「飲用」に『水道水』を使う人は約 2 割に止まっており、『浄水器を通った水』を「飲用」にしている人よりも少ない。
- * 「炊飯」「調理」には 5 割強が『水道水』をそのまま使用しているが、『浄水器を通った水』を使っているという回答も 35%前後ある。
- * 「コーヒー・紅茶をいれるとき」は“水道水派”と“浄水器派”がともに 35%前後で拮抗している。
- * 直接水を口にすることがない「食器洗浄」については、『水道水』が圧倒的多数（9 割以上）を占めている。

以下の表は水の用途別に、“水道水派”と“浄水器派”の比率を抽出比較したものです。

■水の用途別の“水道水派” vs. “浄水器派”

	00 年(全体)		99 年(全体)	
	水道水派	浄水器派	水道水派	浄水器派
①飲用に使う水	21.1%	28.0%	25.1%	29.4%
②コーヒー・紅茶に使う水	35.0%	34.6%	34.1%	36.3%
③炊飯に使う水	52.0%	34.1%	50.8%	35.9%
④調理に使う水	53.0%	32.2%	53.1%	33.7%
⑤食器洗浄に使う水	91.7%	2.8%	94.9%	1.4%

①飲み水として使う水

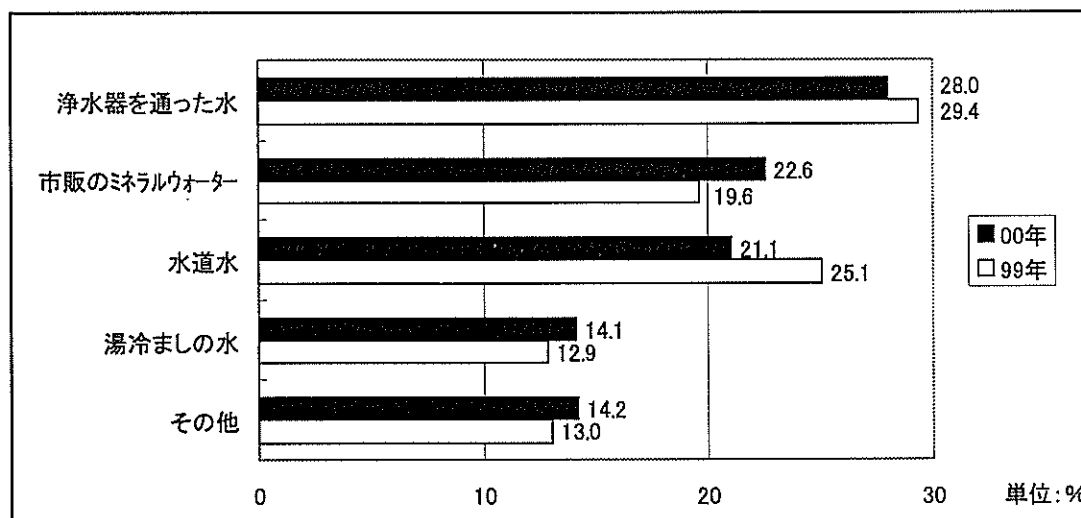
トップは『浄水器を通った水』で28.0%
5人に1人しか飲まない『水道水』

加熱せずにそのまま摂取する「飲用の水」。それだけに、風味や安全性がもっとも気になるところです。

全体では、1位『浄水器を通った水』(28.0%)、2位『市販のミネラルウォーター』(22.6%)と続き、『水道水』は21.1%で3位でした。昨年の結果と比較すると、『水道水』の人气が低下しているのが目につきます。順位は2位から3位へ、ポイントも25.1%から21.1%へ4ポイント下がりました。

居住地別の比較では、東京圏・大阪圏と中京圏で大きな違いが出ました。東京圏・大阪圏では、『水道水』は全体順位と同じく3位で、それぞれ17.0%、18.8%と2割にも達していません。一方、中京圏では1位『水道水』(31.4%)、2位『市販のミネラルウォーター』(20.3%)、3位『浄水器』(18.6%)で、東京圏・大阪圏と順位が逆転しています。

■飲用に使う水



■飲用に使う水トップ3 (00年/居住地別)

	全体	東京圏	大阪圏	中京圏
浄水器	①28.0%	①32.6%	①28.6%	③18.6%
ミネラルウォーター	②22.6%	②24.8%	②20.5%	②20.3%
水道水	③21.1%	③17.0%	③18.8%	①31.4%

②コーヒー・紅茶をいれるときに使う水

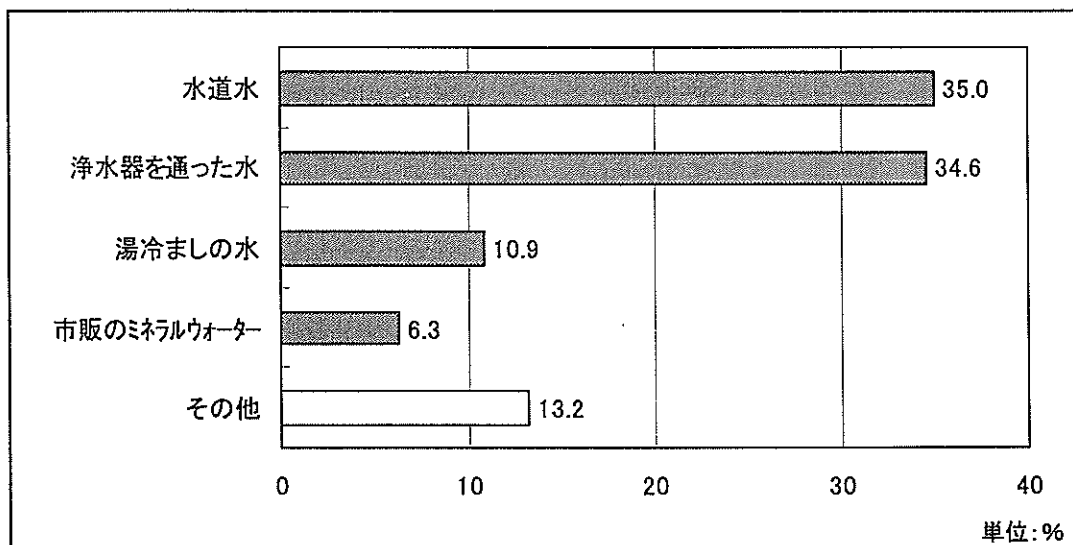
全体では『水道水』（35.0%）と『浄水器』（34.6%）がほぼ半々
東京圏と中京圏の『浄水器』で20ポイントの差

嗜好飲料の代表「コーヒー・紅茶」を楽しむときには、どのような水を使っているのでしょうか。

全体では、『水道水』（35.0%）が『浄水器を通った水』（34.6%）を、わずかに抑えて1位でした。

居住地別に見ると、東京圏・大阪圏では『浄水器を通った水』が『水道水』を上回っており、特に東京圏では『浄水器を通った水』が41.7%に達しています。一方、中京圏では『浄水器を通った水』は21.2%に止まっており、東京圏との差は20ポイント以上になっています。

■コーヒー・紅茶用の水（00年／全体）



■コーヒー・紅茶用の水：“水道水派” vs. “浄水器派”の居住地別比較（00年）

	全体	東京圏	大阪圏	中京圏
水道水	35.0%	31.3%	29.5%	47.5%
浄水器	34.6%	41.7%	33.9%	21.2%

③ご飯を炊くときに使う水 ④お料理に使う水

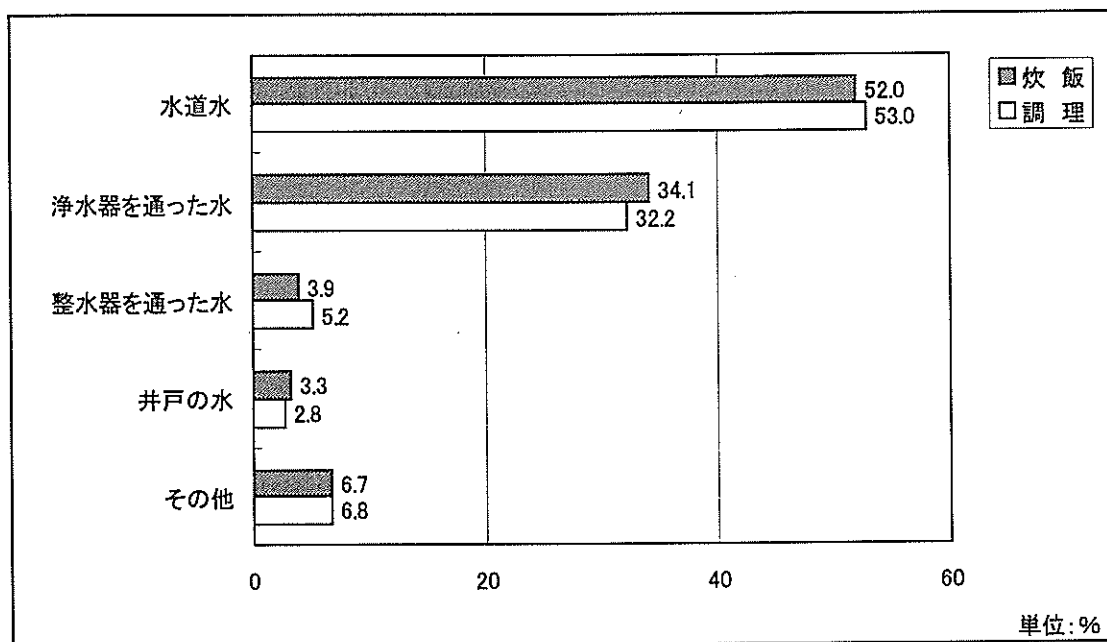
全体では、「炊飯」「調理」ともに『水道水』が5割強でトップ
東京圏で低い、『水道水』の使用率

加熱が前提になる炊飯・調理について、それぞれどのような水を使うか聞きました。
米を炊くときに使う水については、全体では『水道水』（52.0%）がトップで、『浄水器を通った水』（34.1%）を約15ポイント上回りました。

加熱とともに味付けが前提のお料理については、全体では1位『水道水』（53.0%）、2位『浄水器を通った水』（32.2%）となり、炊飯とほぼ同じ結果になりました。

居住地別に“水道水派”の比率を見ると、東京圏では「炊飯」（46.5%）・「調理」（49.1%）ともに半数以下で、中京圏とは10ポイント以上の差がでました。

■炊飯・調理に使う水（00年／全体）



■炊飯・調理：“水道水派” vs. “浄水器派”の居住地別比較（00年）

		全体	東京圏	大阪圏	中京圏
炊飯に使う水	水道水	52.0%	46.5%	55.4%	59.3%
	浄水器	34.1%	41.7%	33.0%	20.3%
調理に使う水	水道水	53.0%	49.1%	53.6%	60.2%
	浄水器	32.2%	39.6%	32.1%	17.8%

⑤食器洗淨に使う水

さすがに『水道水』が圧倒的トップで 91.7%

直接水を口にすることのない「食器洗淨」に使う水は、『水道水』が 9 割以上を占めて、さすがに圧倒的トップでした。

■食器洗淨に使う水 (00 年／全体)

